

## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月13日

上場会社名 株式会社銀座山形屋 上場取引所 東  
 コード番号 8215 URL http://www.ginyama.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小口弘明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 渡邊光潤 TEL 03-6680-8711  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	2,373	2.9	△78	-	△43	-	△69	-
29年3月期第2四半期	2,305	1.2	△32	-	8	22.7	△14	-

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 △35百万円(-%) 29年3月期第2四半期 △109百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	△40.38	-
29年3月期第2四半期	△8.15	-

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	5,026	3,113	61.9
29年3月期	5,069	3,235	63.8

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 3,113百万円 29年3月期 3,235百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	0.00	-	50.00	50.00
30年3月期	-	0.00	-	-	-
30年3月期(予想)	-	-	-	50.00	50.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,454	4.7	145	△36.5	200	△31.4	140	△32.0	81.16

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名-、除外 ー社（社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	1,804,471株	29年3月期	1,804,471株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	78,835株	29年3月期	78,783株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	1,725,643株	29年3月期2Q	1,725,704株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的である判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策を背景に緩やかな回復基調に推移したものの、海外の地政学的リスクが顕在化するなど、依然として景気の先行きは不透明な状況が続きました。当社を取り巻く環境におきましても消費者の節約志向は依然として強く、企業間競争も激化し、厳しい経営環境が続きました。

このような環境のもと当社グループは銀座山形屋の服づくりのこだわり「メイドインジャパン」・「着心地と品質」を柱に「世界一のオーダーメイド企業をつくる」を目標に“ぶれることなく”継続し磨き続けることにより、グループ企業一体となって販売の拡大・強化に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の実績といたしましては、売上高は2,373百万円(前年同四半期比2.9%増)となりました。紳士コート工場の譲り受けや前連結会計期間出店店舗にかかわる費用増加などにより経常損失は43百万円(前年同四半期は8百万円の経常利益)となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純損失は減損損失16百万円の計上により、69百万円(前年同四半期は14百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における店舗数は、(株)ウィングロード24店舗、日本ソーイング(株)11店舗であり、グループ合計で35店舗となっております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当第2四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分方法等を変更しており、前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較しております。

小売事業が売上高1,305百万円(前年同四半期比5.5%増)、セグメント損失8百万円(前年同四半期は9百万円のセグメント損失)、卸売事業が売上高612百万円(前年同四半期比1.7%減)、セグメント損失17百万円(前年同四半期は15百万円のセグメント利益)、受託縫製事業が売上高1,345百万円(前年同四半期比3.8%増)、セグメント損失28百万円(前年同四半期は22百万円のセグメント損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期度末の総資産は、前連結会計年度末と比較して43百万円減少し、5,026百万円となりました。

資産の部では、流動資産が前連結会計年度と比較して152百万円減少しました。主な要因は、季節要因による売掛金の減少及び紳士コート縫製工場を譲り受けたこと等による現金預金の減少によるものであります。

固定資産は前連結会計年度と比較して109百万円増加しました。これは主に受託縫製事業において紳士コート縫製工場を譲り受けたこと等による有形固定資産の増加14百万円及びのれんの増加32百万円並びに保有する一部の投資有価証券の時価が上昇したことによる増加48百万円等によるものであります。

負債の部では、前連結会計年度末と比較して78百万円増加し1,912百万円となりました。

これは、期末日が銀行休業日のため、買掛金及び未払金の決済が翌四半期期首にずれ込んでいる事等によるものであります。

純資産の部においては、配当金の支払い86百万円及び親会社株主に帰属する四半期純損失69百万円を計上した一方で、その他有価証券評価差額金が34百万円増加した結果、当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度と比較して121百万円の減少となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の業績予想につきましては、概ね計画どおり推移しており平成29年5月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

なお、この予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,352,972	1,255,951
受取手形及び売掛金	575,546	466,553
商品及び製品	163,958	210,371
仕掛品	27,295	26,780
原材料	131,533	143,847
繰延税金資産	52,342	40,169
その他	59,806	66,883
貸倒引当金	△1,011	△676
流動資産合計	2,362,445	2,209,882
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	233,571	218,863
その他(純額)	355,499	384,873
有形固定資産合計	589,070	603,736
無形固定資産		
のれん	—	32,325
その他	4,443	17,826
無形固定資産合計	4,443	50,152
投資その他の資産		
投資有価証券	1,264,480	1,313,402
敷金及び保証金	726,351	722,641
繰延税金資産	2,401	4,821
その他	131,380	132,501
貸倒引当金	△11,094	△11,094
投資その他の資産合計	2,113,519	2,162,273
固定資産合計	2,707,033	2,816,161
資産合計	5,069,478	5,026,043
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	209,621	250,064
未払法人税等	38,776	14,185
ポイント引当金	49,130	45,177
その他	505,833	558,062
流動負債合計	803,362	867,490
固定負債		
役員退職慰労引当金	95,779	94,201
退職給付に係る負債	581,131	596,850
資産除去債務	203,826	203,945
繰延税金負債	121,279	123,481
その他	28,728	26,580
固定負債合計	1,030,745	1,045,059
負債合計	1,834,107	1,912,549

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,727,560	2,727,560
利益剰余金	480,061	324,094
自己株式	△80,579	△80,668
株主資本合計	3,127,042	2,970,986
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	108,327	142,507
その他の包括利益累計額合計	108,327	142,507
純資産合計	3,235,370	3,113,494
負債純資産合計	5,069,478	5,026,043

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	2,305,967	2,373,299
売上原価	1,105,704	1,139,856
売上総利益	1,200,263	1,233,443
販売費及び一般管理費	1,232,754	1,311,933
営業損失(△)	△32,491	△78,490
営業外収益		
受取利息	140	118
受取配当金	24,147	23,587
受取手数料	8,282	7,918
助成金収入	6,409	3,190
雑収入	2,703	1,311
営業外収益合計	41,682	36,126
営業外費用		
支払利息	219	273
雑損失	27	515
営業外費用合計	246	789
経常利益又は経常損失(△)	8,944	△43,153
特別損失		
減損損失	—	16,276
特別損失合計	—	16,276
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	8,944	△59,429
法人税、住民税及び事業税	10,530	10,271
法人税等調整額	12,477	△18
法人税等合計	23,008	10,253
四半期純損失(△)	△14,063	△69,682
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△14,063	△69,682

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純損失(△)	△14,063	△69,682
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△95,239	34,179
その他の包括利益合計	△95,239	34,179
四半期包括利益	△109,302	△35,503
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△109,302	△35,503



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	8,944	△59,429
減価償却費	37,401	40,750
のれん償却額	—	1,905
貸倒引当金の増減額(△は減少)	36	△334
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,245	△1,578
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△20,168	15,718
受取利息及び受取配当金	△24,287	△23,706
減損損失	—	16,276
支払利息	219	273
売上債権の増減額(△は増加)	101,843	108,993
たな卸資産の増減額(△は増加)	△33,318	△55,026
仕入債務の増減額(△は減少)	△42,505	40,443
未払金の増減額(△は減少)	△26,270	△11,718
未払消費税等の増減額(△は減少)	△33,327	△135
その他	△29,238	31,019
小計	△57,425	103,451
利息及び配当金の受取額	24,287	23,706
利息の支払額	△219	△273
法人税等の支払額	△40,105	△35,783
営業活動によるキャッシュ・フロー	△73,463	91,100
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△55,090	△40,194
無形固定資産の取得による支出	—	△3,633
事業譲受による支出	—	△60,000
投資有価証券の取得による支出	△510	△534
敷金及び保証金の回収による収入	47,847	3,930
敷金及び保証金の差入による支出	△1,000	△70
その他	△1,121	△1,061
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,874	△101,564
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△65	△88
配当金の支払額	△85,083	△81,897
リース債務の返済による支出	△3,328	△4,570
財務活動によるキャッシュ・フロー	△88,477	△86,556
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△171,814	△97,020
現金及び現金同等物の期首残高	1,194,464	1,352,972
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,022,650	1,255,951

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社には該当していませんが、当第2四半期連結会計期間において、ファクトリー玉野株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,237,356	623,059	440,369	2,300,786
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	855,541	855,541
計	1,237,356	623,059	1,295,911	3,156,327
セグメント利益又は損失(△)	△9,305	15,762	△22,108	△15,650

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△15,650
棚卸資産の調整額	2,399
その他の調整額	△2,602
全社収益(注1.)	137,648
全社費用(注2.)	△154,285
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△32,491

(注1.) 全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの経営指導料、不動産賃貸収入等であります。

(注2.) 全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,305,367	612,212	450,856	2,368,436
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	894,943	894,943
計	1,305,367	612,212	1,345,799	3,263,379
セグメント利益又は損失(△)	△8,258	△17,477	△28,882	△54,618

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△54,618
棚卸資産の調整額	△184
その他の調整額	△1,711
全社収益(注1.)	144,413
全社費用(注2.)	△166,389
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△78,490

(注1.) 全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの経営指導料、不動産賃貸収入等であります。

(注2.) 全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成29年7月20日にファクトリー玉野株式会社を設立し、譲受けた紳士コート縫製事業を同社にて行うことに伴い、当社グループ各事業の進展状況に照らし営業形態等を勘案の上、第2四半期連結会計期間より報告セグメントの区分方法の見直しを行いました。

その結果、ファクトリー玉野株式会社は「受託縫製事業」セグメントに含め、従来の「受託縫製事業」から「bref販売」を「小売事業」へ、「卸売事業」から「地方受託販売」を「受託縫製事業」へそれぞれ変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

全社資産として事業譲受によるのれんを計上しております。

当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては34,231千円であります。

なお、のれんの金額は取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。